

【】区民の力で築く元気に輝くまち

- 健全で活力ある地域産業の育成

10 区内産業・商店街の振興

目指す姿

区内中小企業では、多様な人材がやりがいを持って生き生きと働いており、技術力や競争力を培うことで区内の産業が活性化しています。また、特色あるまちづくりの中心となる魅力ある商店街が形成されています。

施策実現に関する指標

指標名	指標の説明	現状値 2019 年度	目標値 2024 年度	対応する 取組方針
区内の産業が活発であると思う区民の割合	区内の産業が「活発であると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	**	**	代表指標
各種助成事業における助成件数	区内中小企業の支援を目的とした各種助成事業による助成件数	**	**	取組1
こうとう若者・女性しごとセンターの利用者で就職が決定した人数	こうとう若者・女性しごとセンターの登録者で就職先が決定した人数	**	**	取組2
創業支援資金の融資申込みをした事業者数	区内の創業者のうち、創業支援資金の融資申込みをした事業者数	**	**	取組3
魅力ある商店街やお店が区内にあると思う区民の割合	魅力ある商店街やお店が「身近にあると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	**	**	取組4

現状と課題

- 江東区では、制度融資や経営相談などを通じて区内事業所の98%を占める中小企業の競争力の強化や区内での創業支援を進めるとともに、優れたものづくり企業を認定する「江東ブランド事業」を通じて、特色ある区内企業の積極的なPRを行ってきました。
- 魅力ある商店街の形成に向け、個店の魅力を発信する情報誌「ことみせ」の発行のほか、地域と連携したイベント事業への補助や空き店舗の活用支援、多言語表記の促進などを行ってきました。
- 生産年齢人口の減少や経営者の高齢化等により、製造業を中心とする本区の中小企業では、人手不足や承継問題が課題となっています。
- 国は、「新しい経済政策パッケージ」を策定し、生産性革命として人手不足に悩む中小・小規模事業者も含め、企業による設備や人材への投資を力強く促進することとしています。
- 区内産業の活力を高めるため、中小企業が優れた経営力・競争力・技術力を備え、また人材不足を解消するよう、多様な支援策が求められています。また、既存の事業所をより発展させるとともに、区内での創業を促進する多様・多角的な支援が必要です。
- 商店街は身近な商品やサービスを提供するだけでなく、まちの活気をつくりだし、地域コミュニティの核としての役割を担うことが期待されています。
- 商店街の衰退が全国的な課題となっており、本区でも大規模小売店舗の進出や後継者不足、消費行動の多様化など社会経済状況の変化を背景に廃業や空き店舗が増加していますが、**これらの課題は、各商店において、その地域の社会課題を少しでも改善しようとする視点への発想の転換が必要です。**
- 魅力ある個店の挑戦を促す支援を展開することで、商店街や地域一帯の活性化につなげる必要があります。

取組方針

1. 経営力・競争力の強化

臨海部等の新たなまちの形成や都心隣接の地の利を活かし、急速に変化する社会経済情勢に対応できるよう、経営相談や産業情報の提供を行います。また、地域ものづくり企業のブランディング、制度融資や各種補助金交付を通じて、区内中小企業の経営基盤の強化や販路の拡大、海外へ向けた発信、ITなどの先進技術を活用した事業の生産性向上を支援します。

■現行の主な事業■

中小企業融資事業、経営相談事業、新製品・新技術開発支援事業、販路開拓支援事業、江東ブランド推進事業

2. 人材の確保・育成と事業承継

人材不足・後継者不足に対応できるよう、職業のマッチング等による人材確保の支援や、多様な働き方が可能な職場環境の整備を支援し、人材の育成や定着率の向上を図ります。また、関係機関との連携により区内中小企業の事業承継を支援します。

■現行の主な事業■

中小企業雇用支援事業、産業表彰事業

3. 創業への支援

「江東区創業支援等事業計画」を軸に、関係機関との連携により制度融資、相談、セミナー、助成など、きめ細かい創業支援を実施し、区内での創業を促進するとともに、創業後のフォローアップに努めていきます。

■現行の主な事業■

創業支援資金融資事業、創業支援事業

4. 地域に根ざした商店街の振興

地域に根ざした商店街が主体となって実施する環境整備やイベント等の販売促進、地域団体との協働事業への支援を行います。また、若手の育成や、それぞれの特性やニーズに対応した商店街づくりを支援し、地域住民はもとより国内外からの来街者も楽しんで快適に買物ができる商店街を目指します。さらに、個店の魅力も積極的に発信していきます。

■現行の主な事業■

商店街活性化総合支援事業、商店街イベント補助事業、江東お店の魅力発掘発信事業、魅力ある商店街創出事業

関連する個別計画

施策ページ構成（案）

【】区民の力で築く元気に輝くまち

- 個性を尊重し、活かしあう地域社会づくり

11 地域コミュニティの活性化

目指す姿

地域のつながりが深まり、世代や国籍を問わない誰もが参加しやすい魅力的な活動が充実する、明るく住みよい地域社会が実現されています。

施策実現に関する指標

指標名	指標の説明	現状値 2019 年度	目標値 2024 年度	対応する 取組方針
この1年間に地域活動に参加した区民の割合	住みよい地域とするために、町会・自治会、NPO、ボランティアなどのコミュニティ活動に「よく参加している」「ときどき参加している」と回答した区民の割合	**	**	代表指標
町会・自治会加入世帯数	毎年3月1日現在の町会・自治会の加入世帯数	**	**	取組1
気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合	「気軽に利用できる地域活動施設があると思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した区民の割合	**	**	取組2
地域イベントへの参加者数（区民まつり、各地区まつり、江東花火大会、国際交流のつどい）	世代や国籍、地域を超えた交流の場となるイベント（区民まつり、江東花火大会、国際交流のつどい）への参加人数	**	**	取組3

現状と課題

- 江東区では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体等への活動支援を通じてコミュニティの活性化を図るほか、文化センターなどの計画的な改修を行い、コミュニティ活動の場の提供も行ってきました。
- 区民まつりや各地区まつり、こどもまつりのほか、臨海部での大学やNPOとの連携による地域イベント、国際交流イベントなどを通じて、地域や国籍を超えた交流の促進も図ってきました。
- 大型、高層マンションの急増を背景として区民のライフスタイルは多様化しており、地域への関心が低い住民が増加しています。
- 全国の都市部で、自治会・町内会の加入率の低下や近所付き合いの希薄化により、地域活動の担い手不足が課題となっている一方で、防災や子育てなどの分野では地域コミュニティの役割が重要になっています。
- 本区では、臨海部を中心とした人口増が続く中、高齢、若年の単身世帯が増加し続け、平均世帯人数は減少し続けることが見込まれます。また、外国人人口も増えていくと見込まれる中、多文化共生の取組が重要となっています。
- 今後、円滑な地域コミュニティを形成していく上で、新たに転入した住民と以前から住んでいる住民の融合は必須の課題です。

施策ページ構成（案）

- 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に高まる区民のボランティア活動の気運を、地域の活性化につなげていく必要があります。
- 住民同士の交流を促すため、さまざまな地域コミュニティ団体が開催するイベント活動への支援を行い、さらに国際交流イベント等を通じて、外国人と地域住民が相互理解を深める環境を整備するとともに、生活情報の多言語対応や相談機能の充実など、外国人居住者の支援を進める必要があります。
- コミュニティ活動の活性化のため、誰もが参加しやすい環境の整備、活動情報の発信支援も必要です。

取組方針

1. 多様なコミュニティ活動への参加の促進

町会・自治会、NPO、ボランティア団体等の主体性を尊重しながら、自主的な地域活動を推進していくための支援を行います。また、各コミュニティ活動に関する情報の発信・共有を図り、より多くの区民がコミュニティ活動に関心を持ち、地域への愛着、絆を深め気軽に参加できるようコミュニティ活動支援サイト等の充実に努めるとともに、コミュニティの担い手の養成にもつなげていきます。さらに、新たに転入してきた住民が、町会・自治会等に加入するきっかけとなる情報提供などを行い、地域活動に参加する区民を増やします。

■現行の主な事業■

町会自治会活動事業、コミュニティ活動支援事業、コミュニティ活動情報発信事業

2. コミュニティ活動を支える環境整備

コミュニティ活動の拠点となる公的施設の利用を促進するとともに、適切な維持管理を行い、区民が集い、安心して活動できる場を確保します。また、区民館や地区集会所等の効率的な運営を図るため、地域ニーズに沿った情報発信を進めるなど、利用・運用面での環境整備を行います。

■現行の主な事業■

地区集会所改修事業、地区集会所管理運営事業、区民館管理運営事業、町会自治会会館建設助成事業

3. 地域・世代・国籍を超えた交流・共生の推進

区民まつりをはじめとした地域イベントを様々な工夫を凝らし、継続的に開催することで、多世代住民の交流、地域を超えた交流の場を提供します。また、外国人と地域住民との文化交流が自然と図られ相互理解が得られるよう、関係団体と連携した国際交流イベント等を実施するとともに、外国人居住者への生活情報の提供や相談対応など庁内で連携を図り、多文化共生社会を目指します。

■現行の主な事業■

姉妹都市・区内在住外国人交流事業、区民まつり事業、江東花火大会事業

関連する個別計画

施策ページ構成（案）

【】 区民の力で築く元気に輝くまち

- 個性を尊重し、活かしあう地域社会づくり

12 ダイバーシティ社会の実現

目指す姿

全ての区民がお互いの人権を尊重し、誰もが自分らしく生きることができる社会を実現しています。

施策実現に関する指標

指標名	指標の説明	現状値 2019 年度	目標値 2024 年度	対応する 取組方針
「江東区は多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちである」と思う区民の割合	「性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちである」と回答した区民の割合	**	**	代表指標 取組 1
区の審議会等への女性の参画率	区の審議会・協議会・審査会等における女性委員の割合	**	**	取組 2
「仕事と生活の調和がとれた生き方を実現することが出来る」と答えた区民の割合	仕事・家庭生活・地域生活を自分が希望するバランスで実現することが出来ていると回答した区民の割合	**	**	取組 3
DV 相談窓口を知っている区民の割合	DVに関する相談を扱っている各種窓口を知っていると回答した区民の割合	**	**	取組 4

現状と課題

- 江東区では、人権相談や人権学習講座の実施のほか、男女共同参画社会の推進を図るための講座や DV、家庭問題等女性の悩み相談を実施するなど、人権や男女共同参画社会に関する意識啓発、相談体制の確立等に取り組んできましたが、性的少数者（性的マイノリティ）や外国人等の新たな人権課題が顕在化しています。
- 平成 26 年度の「江東区男女共同参画に関する意識調査」では、男女の地位の平等感について男性が優遇されると回答した方が約 7 割にのぼっています。
- 平成 30 年度の DV 相談件数は 5,775 件で、相談内容は多岐に渡っており、庁内関係各課や警察署との緊密な連携により、配偶者等暴力相談支援センターの機能を担い、相談支援を行っています。
- 内閣府の「人権擁護に関する世論調査」（平成 29 年実施）で、基本的人権が憲法で保障されていることを 2 割近くの者が「知らない」と答えており、周知がまだまだ十分とはいえない状況です。
- 世界経済フォーラムが毎年公表する世界各国における男女間の格差を測る「ジェンダー・ギャップ指数^{*}」の日本の順位は下位にあり、特に政治参画・経済参画において男女間格差が大きい状況にあります。
- 人権問題は、女性・子ども・ハラスメント・性自認・性的指向・外国人など多岐に渡っており、人権尊重の理念が広く社会に浸透するための施策を推進していくことが重要です。
- 男女共同参画行動計画に基づき、固定的性別役割分担意識の払拭に向けた積極的な取組が必要です。
- ワーク・ライフ・バランス推進のため区民への意識啓発と区内企業・事業主に対して積極的な取組の働きかけを進めていく必要があります。
- DV の未然防止と被害者への対応が引き続き求められており、多様化する相談内容に関係機関や警察署等との緊密な連携により対応する必要があります。

施策ページ構成（案）

取組方針

1. 人権の尊重意識の醸成

年齢、性別、国籍、障害の有無等によるあらゆる偏見や差別をなくし、多様性を認め合い、全ての人が尊重されるダイバーシティ社会を実現するため、人権相談を通じて救済につなげるとともに、講座・キャンペーン、職員の意識改革などの人権啓発を着実かつ継続的に実施します。

■ 現行の主な事業 ■

人権学習事業、人権推進事業

2. 男女共同参画の推進

性別による固定的役割分担意識が解消され、性別にかかわらず全ての区民があらゆる分野で活躍するとともに、家庭、個人の生活を充実していけるよう啓発活動や支援を行います。

■ 現行の主な事業 ■

男女共同参画啓発事業、男女共同参画学習事業、男女共同参画審議会運営事業、男女共同参画相談事業

3. ワーク・ライフ・バランスの推進

性別・年齢にかかわらず誰もが意欲・能力・状況に応じたワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を図ることが出来るよう、区民と事業所等に対し情報提供や学習講座を開催し啓発を進めていきます。

■ 現行の主な事業 ■

ワーク・ライフ・バランス推進啓発事業

4. 異性に対するあらゆる暴力の根絶

配偶者等からの暴力の被害者保護のため、被害者等に対する相談支援事業を実施します。また、DVを防止するため、暴力を容認しない意識形成の啓発に取り組んでいきます。

■ 現行の主な事業 ■

男女共同参画相談事業

関連する個別計画

男女共同参画行動計画 など

※ジェンダー・ギャップ指数…経済、教育、政治、保健の 4 つの分野のデータから作成され、0 が完全不平等、1 が完全平等を示す。平成 30 年の日本の値は 0.662 で 149 か国のうち 110 位。

施策ページ構成（案）

【】区民の力で築く元気に輝くまち

- 個性を尊重し、活かしあう地域社会づくり

13 生涯にわたり学習できる環境の充実

目指す姿

区民が主体的に生涯学習に取り組み、習得した成果を地域に活かせる環境が整備されています。

施策実現に関する指標

指標名	指標の説明	現状値 2019 年度	目標値 2024 年度	対応する 取組方針
趣味や学習などに取り組んでいる区民の割合	学習や講座、地域の集まりなどで、趣味（茶道・生け花・囲碁・将棋など）、教養（英会話など）、芸術、文化、教室などに「よく参加している」「ときどき参加している」と回答した区民の割合	**	**	代表 指標
学習や講座から得られた学びを地域活動や仕事に活かしている区民の数	文化センターなどでの講座で学んだことを活かして、地域で活動している者の数	**	**	取組 1
図書館来館者数（年間）	年間の図書館来館者数	**	**	取組 2
図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合	図書館が学びの場として「役立っている」「どちらかといえば役立っている」と回答した区民の割合	**	**	取組 2

現状と課題

- 江東区では、江東区文化センターをはじめ、地域文化センター等での生涯学習の継続的な活動への支援とともに、区民企画講座の充実や東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた「おもてなし英会話」など、区民自らが蓄積した知識を地域に還元できる環境づくりを進めてきました。
- 図書館では、地域の特色に合わせた蔵書や展示など子どもたちが本に親しむ機会の提供に取り組んできました。また、令和元・2年（2019・2020年）度の2ヵ年で、江東・深川を除く8館で指定管理者制度を導入し、開館時間の延長を図るなどより一層の利用者サービスの向上を図ることとしました。
- 国では、平成29年9月に設置した「人生100年時代構想会議」において、「何歳になっても学び直しができるリカレント教育※」を主要テーマの1つとして取り上げ、その推進に向け検討しています。
- 大規模改修の時期を迎える地域文化センターについては、利用ニーズを踏まえた効果的・効率的な整備等が必要になります。
- 民間カルチャーセンターの進出により、行政との役割分担や協働・連携のあり方を整理する必要があります。
- 生涯学習への参加や学習成果を地域に還元するなど、区民の学習支援に関し、新たに退職を迎える世代の力を地域に活かすための仕組みづくりに取り組む必要があります。
- 図書館利用者の増加やニーズの多様性を踏まえ、地域情報拠点としての図書館機能の強化や、特色あるサービスの展開が求められています。

施策ページ構成（案）

取組方針

1. 生涯学習の促進

区民ニーズ・利用者数を踏まえた、文化センター等の事業展開を図るとともに、誰もが参加できる多様な学習の機会を提供し、さらに区内大学、NPO、民間団体との連携も推進していきます。また、生涯学習団体等の継続的な活動に対する支援を充実させるとともに、区民が主体的に学習、習得した成果を地域に活かす仕組みづくりに取り組みます。

■現行の主な事業■

生涯学習情報提供事業、地域文化施設管理運営事業

2. 図書館サービスの充実

中央館と各地域館との役割分担と連携により、開館日の増、開館時間の延長を定着させ、利用者の利用機会の拡大を図ります。また、利用者のニーズや地域特性を踏まえ、各館の特徴を活かした特色ある図書館サービスの提供に取り組む、魅力的な図書館の実現と、人と情報が出会いイノベーションが生まれる地域情報拠点としての図書館機能の強化を図ります。さらに、こども図書館の移転整備により、子ども家庭支援センターとの連携による新たなサービス展開を進めるとともに、こどもたちが本の魅力や読書の楽しさに触れるきっかけづくりのため、こどもの成長段階に合わせた働きかけを継続的に取り組みます。

■現行の主な事業■

図書館管理運営事業、図書館読書活動推進事業

関連する個別計画

※リカレント教育…社会に出た者（社会人）が教育機関に入り直して改めて教育を受けるということ、及び、そうした活動を支援する制度や取組、考え方のこと。

施策ページ構成（案）

【】区民の力で築く元気に輝くまち

- 個性を尊重し、活かしあう地域社会づくり

14 スポーツを楽しめる環境の充実

目指す姿

こどもから高齢者まで世代や障害の有無を問わず、身近にスポーツを楽しめる機会と環境が確保され、誰もが生き生きと暮らせる地域社会が形成されています。

施策実現に関する指標

指標名	指標の説明	現状値 2019 年度	目標値 2024 年度	対応する取組 方針
週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合	「週1回以上スポーツ・運動を行っている」と回答した区民の割合	**	**	代表指標
体育協会加盟団体・社会教育関係団体の登録団体数	体育協会加盟団体及び社会教育関係団体（スポーツ）の登録団体数	**	**	取組1
区立スポーツ施設の利用者数	屋内スポーツ施設及び屋外スポーツ施設の年間利用者数	**	**	取組2

現状と課題

- 江東区では、平成27年3月に策定した「江東区スポーツ推進計画」に基づき、各種体育・地域団体や民間企業、教育機関と連携し、地域のスポーツ活動の活性化、障害者スポーツの理解促進、水辺を活かしたスポーツの推進などに取り組んできました。また、これまでも屋内・屋外スポーツ施設の計画的な改修を行い、利便性の向上を図ってきましたが、**今後も施設の老朽化に伴う大規模改修が見込まれており、利用者ニーズを踏まえた改修が必要です。**
- 平成24年3月、国は「スポーツ基本計画」を策定し、年齢や性別、障害等を問わず、広く人々が、関心、適性等に応じてスポーツに参画することができるスポーツ環境の整備を進めています。
- スポーツ庁の「スポーツの実施状況等に関する世論調査（平成29年度）」では、成人の週1回以上のスポーツ実施率は50%程度となっています。
- 共生社会の実現に向けて、障害者がスポーツに親しめる環境整備と障害者スポーツへのさらなる理解促進が求められています。**
- 東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて価値あるレガシーを残していくための取組を進めています。複数の競技が行われる本区においては、そのレガシーを通じて未来に継続していく取組が必要です。
- ライフステージに応じたスポーツ環境の創出、関係各主体との連携等を通じて、区民にスポーツをより身近に感じてもらえるような環境を、オリンピック・パラリンピック終了後も引き続き残していく必要があります。
- こどもや高齢者、働き盛り世代の誰もが、障害の有無に関わらず地域で気軽にスポーツ・運動を楽しむことができる場所・機会の確保が求められています。

施策ページ構成（案）

取組方針

1. 区民のスポーツ活動の促進

こどもから高齢者まで世代や障害の有無を問わず、区民が主体的にスポーツに取り組み、継続して活動できるよう、スポーツに親しむきっかけづくりやスポーツ団体の育成、相互交流等の支援を充実させます。また、関係団体が蓄積した知識・技能・経験を活かし、区民のスポーツ活動の促進に取り組みます。

■現行の主な事業■

区民スポーツ普及振興事業、スポーツ推進委員活動事業、江東シーサイドマラソン事業

2. スポーツのしやすい環境の整備

区立スポーツ施設や設備の充実、利便性の向上を図り、誰もがスポーツに取り組み楽しむことができる環境を整備します。また、オリンピック・パラリンピックのレガシーを活用するとともに、**都立や民間のスポーツ施設との連携を図りながら**、区民のスポーツ活動を促進します。

■現行の主な事業■

スポーツ施設管理運営事業、少年運動広場維持管理事業

関連する個別計画

江東区スポーツ推進計画 など

施策ページ構成（案）

【】区民の力で築く元気に輝くまち

● 地域文化の活用と観光振興

15 文化・歴史の継承と観光振興

目指す姿

歴史や伝統・芸術文化などが次世代に継承されるとともに、身近に親しめる機会が確保されています。また、情報発信を強化するとともに、魅力的な観光資源を発掘・開発することで、区内外から多くの観光客が訪れるまちが実現しています。

施策実現に関する指標

指標名	指標の説明	現状値 2019 年度	目標値 2024 年度	対応する 取組方針
江東区は魅力的な文化観光資源があると 思う区民の割合	「魅力的な文化観光資源（名所、寺社仏閣、文化財、文化施設、商業施設など）があると思う」と回答した区民の割合	**	**	代表 指標
伝統文化公開事業の 延べ参加者数	伝統文化公開事業（旧大石家住宅、夏休み職人の技体験、江東区伝統工芸展、受け継がれる匠の技、新春民俗芸能の集い）への参加者数	**	**	取組 1
江東区文化施設における 発表活動の実施 件数	各施設における個人・団体の文化芸術活動の発表件数及び区内文化芸術団体の出前公演（アウトリーチ）実績数	**	**	取組 2
観光ガイドの案内者 数	観光ガイドによる文化観光施設やまちあるきガイドツアーの案内者数			取組 3

現状と課題

- 江東区では、「江東区文化プログラム基本指針」に基づき、歴史文化資産の保護や民俗芸能などの伝統文化の継承に努めてきたほか、芸術文化に関する公演などを実施し、文化振興の底上げを図ってきました。
- 平成 28 年 3 月策定の「江東区観光推進プラン（後期）」に基づき、「水辺」「スポーツ」「食」「アート」「ひと」の魅力を活かした観光戦略、ICT 活用等による情報発信、観光ボランティアガイドの育成、観光拠点施設（門前仲町、亀戸）の活用、広域連携による観光プロモーションなど、「江東区ならではの」観光施策を推進してきました。
- 国は「観光ビジョン実現プログラム」において、令和 2（2020）年に訪日外国人旅行者 4,000 万人とする目標を掲げ、増加する個人旅行者ニーズに的確に対応し、インバウンド消費を更に拡大していくことが重要であるとしています。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機に取組まれる文化プログラムを活用し「文化芸術立国」の実現を目指しています。
- 人口減少や少子高齢化の進展により、国内旅行市場は大幅な伸びが期待できない一方で、訪日外国人旅行者は増加を続けており、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催後も、訪日外国人旅行者に対する市場は拡大していくと見込まれます。
- 民俗芸能や伝統工芸分野では、後継（継承）者の育成が喫緊の課題となっています。
- 芭蕉記念館、深川江戸資料館、中川船番所資料館では、ジオラマなどを使った江東区ならではの常設展示を行っていますが、全体の入館者数は横ばいとなっています。なお、外国人入館者数の割合は増加しています。
- 地域の芸術文化活動が社会の中でどのような機能を持ち、どのような役割を果たすのか、継続的に考えつつ、本区の強みを活かした、質の高い芸術文化の価値や取組の意義について、区民への PR に努めるとともに区内外への情報発信をさらに強めていく必要があります。

施策ページ構成（案）

- 芸術文化に触れる・参加する機会を提供し、芸術文化の創造や次世代への育成につなげていくことが重要です。
- 観光客の総合的な受け入れ態勢の整備や一体的な情報発信の強化など、観光事業に対する戦略的、体系的な施策の推進が求められています。また、観光振興による地域経済の活性化には、観光拠点や観光施設、商店街などの物的資源や文化観光ガイドなどの人的資源を有効活用した施策の展開が必要です。

取組方針

1. 伝統文化の保存と継承

文化財保護推進協力員と協働し、江戸時代以降に花開いた伝統文化や文化財を保護するとともに、講習会・講演会の開催等区内外への PR や小中学校との連携などにより、伝統文化の継承に取り組みます。また、伝統文化保存団体の活動の支援と、伝統文化を披露する場の充実により、区民が伝統文化に親しめる環境を整備します。さらに、芭蕉記念館、深川江戸資料館、中川船番所資料館については、施設の魅力を高めるために資料の充実や展示方法の工夫、多言語化等の取組を進めます。

■ 現行の主な事業 ■

文化財保護事業、文化財公開事業、歴史文化施設管理運営事業

2. 芸術・文化活動の支援

芸術文化団体の活動を支援するとともに、江東公会堂や地域の文化センターなどを活用し、区民ニーズに合った芸術文化事業を企画、誘致します。また、プロによるアマチュア指導の機会を設けるなど、次世代の芸術の担い手を育成していくとともに、区民が自然に芸術文化活動に親しめる様々なきっかけづくりに取り組みます。

■ 現行の主な事業 ■

地域文化施設管理運営事業、江東公会堂管理運営事業

3. 地域資源を活用した観光振興

水辺、スポーツ、食、アート、人といった本区の持つ魅力を活かしながら、江東区観光協会を中心に官民連携のもと、新たな観光資源の開発にも取り組みます。また、本区の観光資源を様々な媒体等を活用して国内外に広く発信し、誘客を図ります。さらに、豊洲市場や千客万来施設、オリンピック・パラリンピックのレガシーなど新たな観光資源との連携や、観光人材の養成・活用により、国内外の観光客に対するおもてなしの強化を図るとともに、近隣自治体等と連携した効率的・効果的な観光振興を進めます。

■ 現行の主な事業 ■

観光 PR 事業、観光シャトルバス運行事業、江東区観光協会運営補助事業、観光イベント事業

関連する個別計画

江東区観光推進プラン など